

主題	項目	持続可能な活動に向けての詳細説明
安全・品質	品質マネジメントシステムの運用	品質のマネジメントに関するシステム（品質に関するPDCAサイクルをまわす仕組み）を構築し、運用する。
	製品・サービスの安全性確保および品質保証	各国・地域ごとに定められた法令や基準を満たす製品・サービスを生産・提供し、それらの品質を確保する仕組み（監査、情報収集、分析等）を構築し、運用する。
	製品・サービスに関する正確な情報開示	ステークホルダーに対して、製品・サービスに関する正確な情報を開示する。
	製品・サービスの安定供給	サプライチェーンの最適化に関する取り組みを推進するとともに、事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）等を整備する。
コンプライアンス	法令遵守	各国・地域のすべての法令を遵守する。
	反社会的勢力との関係根絶	取引関係を含め、反社会的勢力とは一切の関係を持たない。
	優越的地位の濫用禁止	優越的な地位を濫用せず、ステークホルダーと適切な関係性を維持する。
	汚職・賄賂の禁止	政治・行政と正常な関係を保ち、贈賄や違法な献金等は行わない。
	不適切な利益供与および受領の禁止	ステークホルダーとの関係において、不適切な利益の供与および受領を行わない。
	公正な競争	公正かつ自由な競争を促進し、競争に関する法令を遵守する。
	知的財産の保護	他社（他者）の知的財産を侵害しない。
	情報の適正な管理・保護	情報セキュリティを徹底し、個人情報や営業秘密を適切に管理・保護する。
人権・労働	差別の撲滅	すべての雇用の場面（採用・昇進・報酬・賃金等）において、人種・国籍・宗教・性別・年齢・障がい等を理由とした差別をしない。
	強制労働・児童労働の禁止	本人の意に反する労働は行わせない。また、各国の法令による就業の年齢に満たない児童の労働は認めない。
	ハラスメントの防止	セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止する。
	適正な労働時間と賃金支払い	各国の法令に従い、適切に従業員の労働時間を管理するとともに、適正な賃金を支払う。
	従業員の結社の自由と団体交渉の権利尊重	各国の労働法規に従って、従業員が自由に結社する権利や団体交渉を行う権利を尊重する。また、これらの権利が国際人権基準を満たさない各国・各地域の法令により制限されている場合は、これらの権利を尊重する方法を追求する。
	従業員の健康管理	従業員の健康状態を把握し、適切に管理する。
	職場の安全衛生確保	従業員が安全に、また快適に働くことができるよう、職場の環境を整え、危険な箇所があれば対策を講じる。
環境保全	環境マネジメントシステムの運用	環境活動を推進するための管理の仕組みを構築し、適切に運用する。
	生物多様性・生態系への配慮	生物多様性・生態系に配慮した事業活動を行い、生物多様性・生態系の保全ならびにそれらに及ぼす影響の低減に努める。
	水の効率的な利用推進	事業活動において水を効率的に使用するとともに、渇水や洪水などの水リスクの管理に努める。
	温室効果ガス排出量の削減	国際的に要求される目標水準（SBT ^{*1} ）の温室効果ガス削減目標の設定と共に排出量削減に努める。
	3Rの推進と廃棄物の適正処理	資源の有効活用（3R：リデュース・リユース・リサイクル）を通じて、廃棄物の削減に取り組む。また、廃棄物の処理にあたっては法令を遵守する。
	大気・水・土壌等の環境汚染防止	大気・水・土壌等の汚染防止に関する法令を遵守し、適切に対処する。
	環境に関する状況の開示	環境に関する情報を適切に開示する。
社会との共栄	社会への貢献と地域との共生	社会全体・地域社会の発展や課題解決に貢献する活動を、自発的に行うことを推奨する。
アルコール関連問題	アルコール関連問題への取り組み	未成年者飲酒 ^{*2} ・妊産婦飲酒・多量飲酒・運転前飲酒・イッキ飲み・アルコールハラスメント（飲酒の強要、飲酒絡みの迷惑行為や嫌がらせ等）を防ぎ、適正飲酒に取り組む。

*1 SBT = Science Based Targets

*2 日本では20歳未満飲酒を指します。